

ブルー&グリーンプロジェクト第3期植樹活動  
**「プノン・クーレン国立公園（カンボジア）森林再生プロジェクト」**  
**2025年度植樹成果報告会を開催しました。**

2025年11月26日  
 一般財団法人ベターリビング

ベターリビングでは、当財団が認定する高効率ガス給湯・暖房機等の普及にあわせて植樹活動の支援を行い、ダブル効果で環境貢献を狙う「ブルー&グリーンプロジェクト」を展開しています。

この度、2025年度より開始したプノン・クーレン国立公園森林再生プロジェクトの成果報告会をカンボジアで開催し、カンボジア環境省より詳細な報告をいただきました。

本年度は、3.91haの区域に10樹種、10477本の植樹が行われています。

報告会後は植樹地に向かい、苗木の生育状況について説明をいただきました。

本プロジェクトでは、違法伐採等によって森林が減少している国立公園において2025年から2030年まで6年間で約30haの植樹と、2032年までの保育・育成の支援を行います。また、公園を管理するカンボジア環境省のレンジャーが、地域住民の皆さんに植樹等の指導と環境教育の講演会・研修会を実施するなど、地域との関係を深めながら進めています。

植樹による環境貢献に加え、持続可能な社会への基盤づくりに貢献することが期待されています。



左から 芝浦工業大学 秋元教授、日本ガス体エネルギー普及促進協議会 小川会長、国際緑化推進センター 高原専務理事、ベターリビング 真鍋理事長、カンボジア 環境省自然保護地域総局 スンレアン総局長、在シェムリアップ日本国領事事務所 米澤事務所長、北部トンレサップ陸生保護区保全局 キムスレン局長 他 カンボジア環境省職員の皆様

### 【カンボジア環境省 2025 年度植樹成果の報告概要】

- 植樹準備として、雑草刈り、植樹穴の準備、1.8m 間隔に支柱の設置を行った。
- 2025 年度の植樹面積は 3.91ha となった。目標の 5ha に届かなかった面積を加え、2026 年度には 6ha の植樹を目指す。
- 植樹後 2~3 週間で根付かなかった苗に対しては補植を実施した。
- 地域の原生樹種 10 種、計 10,477 本の植樹を行った。
- 植樹準備と植樹には、プノン・クーレン国立公園周辺の地域住民の皆さん約 300 人の協力を経て実施した。

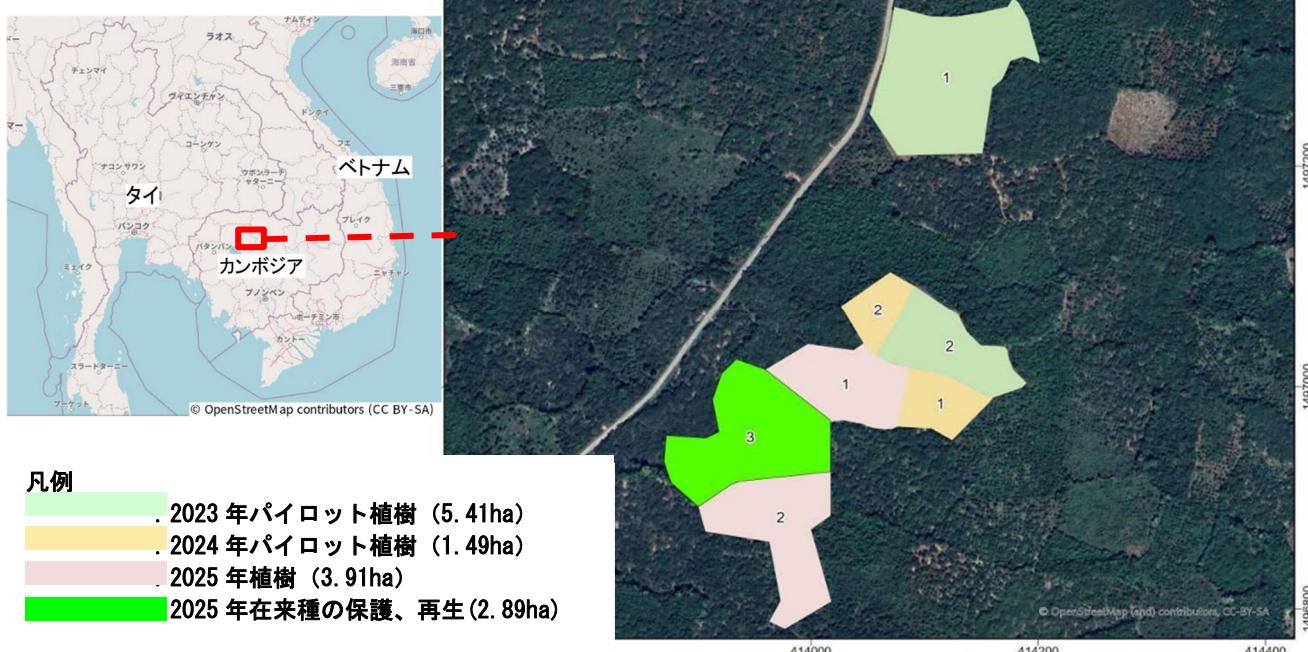
### 【植樹、保育計画表】

年	面積 (ha)				
	予定植樹面積	実績	保育 (2年目)	保育 (3年目)	保育計
2025	5	4			—
2026	5→6		5→4		5→4
2027	5		5→6	5→4	10
2028	5		5	5→6	10
2029	5		5	5	10
2030	5		5	5	10
2031	—	—	5	5	10
2032	—	—	—	5	5
計	30	4	30	30	

### 【2025 年度 植樹樹種一覧】

No.	現地名	学名	苗木数
1	ベン	<i>Afzelia xylocarpa</i>	3,187
2	クララン	<i>Dalbergia cochinchinensis</i>	2,000
3	チュテアル・トウツク	<i>Dipterocarpus alatus Roxb</i>	1,000
4	トノン	<i>Pterocarpus macrocarpus</i>	1,100
5	コーコー	<i>Sindora cochinchinensis</i>	1,000
6	コキ・マソア	<i>Hopea odorata</i>	100
7	トラセツク	<i>Peltophorum dasyrhachis</i>	1,000
8	チュレス	<i>Albizia lebbek (L.) Benth</i>	400
9	チャン・トレイ	<i>Adenanthera pavonina var. pavonina</i>	100
10	クララン	<i>Dialium cochinchinensis Pierre</i>	590
合計	-	-	10,477

### 【植樹面積 概要】



<問い合わせ> 住所: 〒102-0071 千代田区富士見 2-7-2

担当: 住宅部品事業推進部 企画開発課

電話: 03-5211-0572



2025 年度植樹地にて

苗木は雑草と区別できるように、先端が赤い支柱を目印として植えられている。



イメージキャラクターのガスびょん/カメもりん。  
背景の苗木は 2025 年度最も多く植えられた  
ベン/ *Afzelia xylocarpa*



2023 年のパイロットプランで植樹した  
ローズウッド種も大きく育っていた。

## 【ブルー&グリーンプロジェクトとは】

ベターリビングでは、日本ガス体エネルギー普及促進協議会（コラボ）と共に、当財団が認定する高効率ガス給湯・暖房機「エコジョーズ」や家庭用燃料電池コーチェネレーションシステム「エネファーム」の普及にあわせて植樹活動の支援を行う社会貢献活動「ブルー&グリーンプロジェクト」を展開しています。

ブルー&グリーンプロジェクトによる植樹活動はこれまで、第1期植樹（2006～2016年）として約390万本の植樹支援（植樹面積約2,200ha）をベトナムで行いました。第2期植樹（2014～2022年）では、東日本大震災で被害を受けた岩手県陸前高田市の高田松原再生活動として、約1万本（植樹面積約2ha）の植樹支援を行い、被災地の自然環境や歴史的風土の再生活動を支援してきました。

## 【第3期植樹「プノン・クーレン国立公園森林再生プロジェクト】

第3期植樹地として、ASEAN諸国内では森林減少率が大きく、国有地の樹木の違法伐採によって森林減少が引き起こされているカンボジアを暫定の候補地に選定しました。

2023年から2024年まで、（公財）国際緑化推進センターが、カンボジア国シェムリアップ州プノン・クーレン国立公園内の保護区域において、同国環境省（北トンレサップ陸域自然保護地域保全局 自然保護地域総局）の監督の下、パイロットプランの植樹を実施し、その結果が良好であった※ことを受け、2025年から開始されるプロジェクトに対する支援を正式に決定しました。

本プロジェクトでは、2025年から2030年までの6年間で約30haの植樹と、2032年までの保育・育成を支援していく予定です。

※ 約6haの区域に11種6,740本の苗木を植樹しその成果を調査しました。結果として植樹本数の約72%の生存率を達成しました。なお、植樹後の除草は地域住民の皆さんに協力依頼し行われました。